

1

次の各問に答えよ。

問1 約20万年前に出現した新人が使用していたとされる、動物の骨・角・歯牙などから作られた道具の名を記せ。

問2 フランスの学者シャンポリオンがロゼッタ＝ストーンを手掛かりに解読した、古代エジプトで碑文や墓に刻まれた文字の名を記せ。

問3 前17世紀半ば頃から、小アジアを拠点として西アジア各地に侵攻したヒッタイトが用いたものとして正しいものを、次のア～エの中から2つ選び、記号を記せ。

ア 戦車 イ 金属貨幣 ウ 鉄製武器 エ ファラオの称号

問4 古代エジプトについて述べた次の文中の [a]・[b] に適する都市の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から1つ選び、記号を記せ。

古代エジプトでは古王国が [a] を、中王国・新王国が [b] を主な都とした。

ア a：ギザ b：テーベ イ a：ギザ b：メンフィス

ウ a：テーベ b：メンフィス エ a：メンフィス b：テーベ

問5 次の文①・②は、下線部のどちらか一方が誤っている。誤っている文の番号を記し、下線部の語句に代わるべき正しい語句を記せ。

① エジプトを含む全オリエントを初めて統一したアッシリアは、前612年、都のバビロンを攻略されて崩壊した。

② アッシリアが滅亡すると、オリエント世界では、リディア・メディア・新バビロニア（カルデア）・エジプトの4王国が分立した。

問6 新バビロニアに滅ぼされたユダ王国の住民は、前586年、新バビロニアの都に強制移住させられた。この事件の呼称を記せ。

問7 ユダヤ教における唯一神の名を、カタカナで記せ。

問8 ミケーネ文明が滅亡した後、ギリシアが迎えた約400年間の混乱した時代の呼称を記せ。

【解答欄】

問1		問2	
問3	.	問4	
問5	番号： 語句：	問6	
問7		問8	



アプリに正誤情報を入力しよう！

QWM5A1-31K1-02

2

次の文章を読んで、各問に答えよ。

エジプトから地中海東岸，メソポタミアにかけての一带は，ヨーロッパから見て東方に位置し，ラテン語で“日の昇るところ”を意味するオリエントと呼ばれた。オリエントでは，他地域に比べて早くから文明が形成された。

メソポタミアでは，前3000年頃から①シュメール人により都市国家が形成された。前24世紀頃になると，セム語系の②アッカド人がシュメール人の都市国家を征服して統一国家を築いたが，アッカド人の王国はまもなく滅亡し，メソポタミアは諸王朝の分立期を迎えた。その後，前18世紀頃に古バビロニア王国（バビロン第1王朝）の第6代のハンムラビ王がメソポタミアを統一したが，この王国は彼の死後に崩壊し，③小アジアから侵入した民族によって前16世紀初め頃に滅ぼされた。

④エジプトでは，ナイル川流域で文明が形成された。多数の集落が上エジプトと下エジプトという2つのまとまりとなり，前3000年頃には，上下エジプトを支配する統一国家が形成された。以後，エジプトでは約30の王朝が交替し，そのうちとくに繁栄した時代を古王国・中王国・新王国の3期に区分する。古王国では⑤ピラミッドが盛んに造られ，王の絶大な権力が誇示された。中王国時代の末期以後，エジプトは⑥異民族の侵入を受けて一時その支配下に入ったが，前16世紀中頃に興った新王国がこの民族を追放してエジプトを支配した。また，前14世紀頃に在位した新王国の王⑦アメンホテプ4世は，王権の強化をはかって様々な改革を行った。

問1 下線部①に関して，「シュメール人」が絵文字をもとに作り出し，粘土板に刻んだ文字の呼称を記せ。

問2 下線部②に関して，シュメール人の都市国家を征服して統一国家を築いた「アッカド人」の王の名を記せ。

問3 下線部③に関して，この「小アジアから侵入した民族」は，鉄製武器を最初に使用したことで知られ，これを用いて古バビロニア王国を滅ぼすなど，勢力を拡大したとされる。この民族の名を記せ。

問4 下線部④に関して，「ナイル川流域」で文明が形成されたことを，“エジプトはナイルのたまもの”と表現したことで知られる古代ギリシアの歴史家の名を記せ。

問5 下線部⑤に関して，エジプトに現存する最大の「ピラミッド」を作らせた王の名を記せ。

問6 下線部⑥の「異民族」を，次のア～エの中から1つ選び，記号を記せ。

ア ミタンニ イ カッシート人 ウ ヒクソス エ “海の民”

問7 下線部⑦に関して，「アメンホテプ4世」が行った「改革」について，50字以内で説明せよ。

3

次のA～Cの各問に答えよ。

A 次の年表を見て、各問に答えよ。

前1500年頃	(①) 人がカイバル峠を越えてパンジャブ地方に定着
前1500～前600年頃	②バラモン教が発展し、③聖典が形成された
前5世紀頃	④仏教が開かれた
	⑤ジャイナ教が開かれた

問1 空欄①に適する語句を記せ。

問2 下線部②に関して、「バラモン教」における祭式至上主義に対する批判から生まれた、内面における思索を重んじる哲学の名を記せ。

問3 下線部③に関して、バラモン教の「聖典」のうち、神々への賛歌をまとめた最古の聖典の名を記せ。

問4 下線部④に関して、「仏教」を開いた人物の名を記せ。

問5 下線部⑤に関して、「ジャイナ教」について述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から1つ選び、記号を記せ。

X 梵我一如という真理を悟り、解脱することを説いた。

Y 厳格な不殺生主義と苦行の実践を重視し、商人を中心に支持を得た。

ア X－正 Y－正 イ X－正 Y－誤

ウ X－誤 Y－正 エ X－誤 Y－誤

B 次の各問に答えよ。

問6 黄土と豊かな水に育まれた肥沃な黄河流域では、早くから農耕が発達し、前5000年頃から前3000年頃にかけて、彩陶（彩文土器）を特色とする文化が発達した。この文化の呼称を記せ。

問7 現在確認できる中国最古の王朝は、前16世紀頃に成立した殷である。殷の实在を裏付けることになった、殷の後期の都の遺跡の呼称を記せ。

問8 周代の中国で発達した封建制度の下で作られた、一族の身分秩序や祭祀の方法などを定めた規範の呼称を記せ。

C 次の文章を読んで、各問に答えよ。

アメリカ大陸の先住民はモンゴロイド系と考えられる人々である。彼らは、氷期に陸続きだったベーリング海峡を通過して、ユーラシア大陸からアメリカ大陸の各地に移住・定着し、それぞれの地域で特色ある文明を発達させた。

メキシコを中心とする中米では、前1200年頃までにオルメカ文明が栄え、のちの中米の文明に大きな影響を与えた。また、メキシコ高原では前1～後6世紀に太陽のピラミッドなどを特徴とする文明が栄えた。その後、14～16世紀にはメキシコ高原にアステカ人の⑥アステカ王国が栄えたが、1521年、スペイン人征服者によって滅ぼされた。一方、ユカタン半島では、前1000年頃から（⑦）文明が栄えた。この文明では独自の文字や二十進法に基づく数の表記法などが生み出されたが、後16世紀にスペイン人によって征服された。

南米のアンデス地方では、前1000年頃にチャビン文化が興り、その後、ナスカ文明など様々な文明が築かれた。アンデス地方に成立した諸国は争うこともあったが、後15世紀頃にケチュア人が築いたインカ帝国が広大な領域を支配した。インカ帝国では、都に至る道路網も整えられ、灌漑施設も整備された。また、⑧優れた石造建築が多数作られ、太陽の化身とされた王が国内を統治した。文字はなかったが、⑨縄を利用した記録法が用いられていた。しかし、1533年にスペイン人征服者の侵入を受けて滅亡した。

問9 下線部⑥の「アステカ王国」の都が置かれた都市の名を記せ。

問10 空欄⑦に適する語句を記せ。

問11 下線部⑧に関して、次の写真は、インカ帝国の「石造建築」を今日に伝える遺跡の1つである。この遺跡の名は何か。



問12 下線部⑨に関して、「縄」の結び方によって数量などを示したこの「記録法」を何というか。カタカナで記せ。

【解答欄】

A	問 1		問 2	
	問 3		問 4	
	問 5			
B	問 6		問 7	
	問 8			
C	問 9		問 10	
	問 11		問 12	